

## 事業所における自己評価総括表

事業所名	済生会明和病院なでしこ	
保護者評価実施期間	R7 年 9 月 1 日 ～ R7 年 11 月 29 日	
保護者評価有効回答数	対象者数： 5 名	回答者数： 4 名
従業者評価実施期間	R7 年 11 月 1 日 ～ R7 年 11 月 29 日	
従業者評価有効回答数	対象者数： 2 名	回答者数： 2 名
訪問先施設評価実施期間	R7 年 9 月 1 日 ～ R7 年 11 月 29 日	
訪問先施設評価有効回答数	対象者数： 5 名	回答者数： 4 名
事業者向け自己評価表作成日	R8 年 2 月 2 日	

### 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していること 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を行えている。	・安全に個々の発達に応じた福祉用具の調整を定期的に行っている。 ・訪問支援員から専門的な助言や説明を行い、普段の生活の中で取り入れられるような取組を提案している。	・支援者が負担にならないような取組とその必要性を丁寧に伝えていく。
2	・必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができている。	・家族さんのニーズによっては複数の職員が多角的な視点でお子さんの成長を観察、共有している。 ・同法人の通所事業または通院リハビリを併用しており、お子さんの状況把握がしやすく、統一した支援体制が取りやすい。	・学校や保育園等での様子をこまめに情報収集し、より支援内容が充実したものになるよう連絡調整を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組 工夫が必要な点等
1	・家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が少ない。	・お子さんを対象に将来を踏まえた聞き取りや困りごとに対しての助言や提案等になっている。	・家族さんとの面談にてしっかり情報共有を行い、ニーズを汲み取った情報提供の場として対応していく。